

福原有信・没後 90 年記念事業

# ふるさと館山松岡の偉人

## 福原有信を語るつどい



平成 26 年

2.15 (土)

13:30～

16:30

会場：千葉県南総文化ホール小ホール  
参加費無料

\*現地見学会 10:30～11:30

福原有信のふるさと松岡を歩こう！

集合＝10:20 安房特別支援学校前

館山市の松岡八幡神社の鳥居には「明治四十四年 福原有信」と刻まれています。1848(嘉永元)年、松岡村(現館山市菟岡)の医者の子に生まれた福原は、17歳で上京して西洋薬学を学びました。海軍病院薬局長を経て、1872(明治5)年に23歳で日本初の洋風調剤薬局「資生堂」を銀座に開き、医薬分業の礎を築きました。房州白土を使った「福原衛生歯磨石鹸」を開発し、近代日本の公衆衛生に大きな足跡をのこしています。

1888(明治21)年、人びとが支え合う仕組みとして帝国生命保険会社を設立し、水難事故の多かった漁村の救済にも貢献しました。1896(明治29)年には、後に千葉銀行となっていく安房銀行を設立し、ふるさとの経済振興に大きな役割を果たしています。

長女は館山病院の初代院長・川名博夫の妻となり、四女は渋沢栄一の次男に嫁ぎました。関東大震災で壊滅した館山病院は、福原の支援により療養型サナトリウムとして再建され、銀座資生堂が窓口となって保養地館山の名を全国に広めました。渋沢もまた、虚弱児童の療養施設として東京養育院安房分院(現船形学園)を館山に開き、渡米の際には館山病院二代目院長・穂坂与明(川名の女婿)が侍医として同行しています。

震災の翌1924(大正13)年、76歳で亡くなりました。福原の没後90年を記念し、松岡区が生んだ偉人の功績を学び、その精神を地域の誇りとして未来に語り継いでいきたいと願っています。

### \*記念講演 佐藤 朝美氏 (資生堂企業文化部企業資料館)

- \*座談会
- 福原 勇 (福原家の分家、館山市松岡区在住)
  - 早川 萬専 (福原有信を語り継ぐ会世話人、館山市松岡区長)
  - 早川 政義 (福原有信を語り継ぐ会世話人代表、館山市松岡区在住)
  - 吉田 茂徳 (福原有信を語り継ぐ会世話人、館山市松岡区在住)
  - 天野 努 (安房歴史文化研究会会長、元安房博物館長)
  - 愛沢 伸雄 (NPO法人安房文化遺産フォーラム代表、千葉大学講師)  
コーディネーター
  - 池田恵美子 (NPO法人安房文化遺産フォーラム事務局長)



主催：福原有信を語り継ぐ会、館山市松岡区、NPO法人安房文化遺産フォーラム  
後援：館山市・同教育委員会、館山市神戸地区コミュニティ委員会、神戸地区区長会

館山市観光協会、館山病院、房日新聞社

協力：株式会社資生堂、イズミ野外学習サポート 問合：0470-22-7586 (和泉)